

目標達成計画

作成日：平成 22 年 2 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践、具体的な行為等に関する理解や周知。	外部研修の参加、内部研修の実施により理解を深める。	ホーム会議において現状の利用者の状況からどのようなことが身体拘束につながるか話し合った。玄関の施錠、利用者の意思尊重、見守り、声掛け等現状を把握し、それぞれの対応について具体的に検討した。	3ヶ月
2	10	介護記録と業務日誌の見直し	介護計画と現場状況の把握	ホーム会議において介護計画と現状把握の為の再検討と介護記録と業務日誌の様式の見直し。	1ヶ月
3	33	重度化や看取りに対しての方針の共有と支援	重度化や看取りについての指針を作成し、理解と認識	文章作成し、家族への説明と職員の共有、理解、認識を確実なものにする。	3ヶ月
4	36	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	プライバシーを尊重し利用者の状態にあった声かけを行う。	利用者と職員が「なれあう」、介護方、される方にとって生活する上で信頼関係にもつながる一つの方法、しかし接遇マナーについて再度認識し合う。接遇マナー外部研修2/27計画。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。